

議 事 録

日 時 : 平成23年11月1日(火) 10:00~11:00
会 場 : 花巻市公設地方卸売市場大会議室
会議名 : 花巻市公設地方卸売市場運営協議会

出席者

委員=笹木、曾我、伊藤、佐藤(克)、阿部、菅原、藤本、中村、佐藤(政)
杉原、藤田
市 =佐藤農林水産部長、菅原場長、清水次長、藤原

人事異動により変更あった委員へ委嘱状を交付

曾我委員((株)中央水産花巻)、藤館委員(花巻農協:欠席)
中村委員(花巻農協野菜生産部会広域連合協議会)
杉原委員(県南広域振興局農政部長)

(進行:菅原場長)

1 会長、副会長の選出について(仮議長 佐藤部長)

笹木委員より、事務局案の提示を求められ、事務局案として、会長に藤田康雄委員を、副会長に菅原敬子委員を推薦。会場に諮ったところ「異議なし」とのことから両氏を選出。

2 市場の運営状況について(説明:藤原)

(笹木委員)

(青果物の単価が前年より高いことについて)

昨年は猛暑でその影響が大きかったと思われる。今年も前年並み、今は落ち着いたが葉物が異常に高かった。

震災の影響について

(笹木委員)

3月11日の震災以降、月曜日には販売できたが、高速がストップするなど、ものがない状態。風評被害もひどい。福島県産の野菜、夏の果物は大暴落。消費者も福島県産というだけで拒否している。

花果でも、県産、特に山菜類キノコ類は気をつけている。放射能を測定し一度検出されたものは廃棄、その後は受け付けない。

人口が減っているのに大型の店舗が進出する。大型店舗は仕入れの大きい市場を利用する。どうしても地方の小規模の市場は見放される。市場外流通や産直も多くなっている。これらが市場の取引額が減少する要因であり、避けられない事実でもある。

(曾我委員)

震災以降、三陸産のものが入ってこない状態が続いた。現在も貝類は全くだめ。9月の前年対比がやっと100%を超えた状態。

3 第34回花巻市場まつりについて(説明:藤原)

チラシについては全戸配布。

まつりの主催は市から実行委員会へ移っている。

4 その他

特になし

以上